

リジッドラック(馬ジャッキ) 取扱説明書

下記の文章をよく読んで、正しい使い方で安全に作業して下さい。
取扱説明書は、読み終わったあとも、いつでもご覧になれるところに保管して下さい。

作業の前に

△警告 車を上昇・下降させる場合に車の下、または周囲に人や物がいないことを確認して下さい。
重大な事故につながります。

危

車を高く(250mm~300mm・車体角度10°以上)
一気に上げないで下さい。
車のずれ量が大きくなりリジッドラックが倒れる場合もあります。



リジッドラック設置時は一気に車体を下降しないで下さい。

ゆっくりと車体を下降させ、ジャッキポイントと受皿が当たる手前で一度車体を停止し、安全の確認をしたうえで、再度車体をゆっくり下降させて下さい。

かけ方・はずし方

かけ方

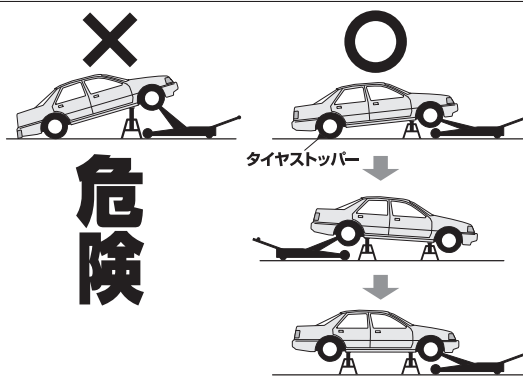
●車の前後にリジッドラックをかける場合は、車を2~3回にわたって前後を交互に上げて下さい。一気に上げると車とリジッドラックとの角度がつきすぎて、受皿がすべり、車からはずれてしまう場合があります。

●リジッドラックへ乗せるためジャッキを下げると少し車が後ろにずれますので、ずれる量を考えてリジッドラックの位置を決めて下さい。

はずし方

●リジッドラックをかけた手順と逆方法でリジッドラックをはずして下さい。
必ず車を2~3回にわたって前後を交互に下げて下さい。

危 使用する車輛重量よりも必ず高い能力のリジッドラックをご使用下さい。



使用時の注意事項

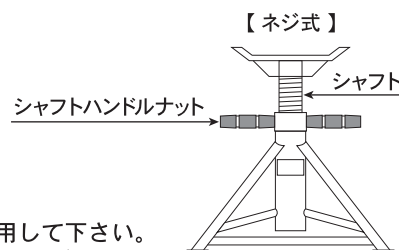
1. 自動車メーカーが指定するジャッキポイントを馬ジャッキ受皿・受ゴムのセンター(中心)に支持する事。
2. 馬ジャッキの高さ調節は、(2台・4台)同じ高さに頭部と本体穴にピンを完全に差し込む事。ネジ式も同じ。
3. 使用する床面が凸凹(水平か)で不安定でないか調べる事。
4. 使用目安車種以外の車輛には絶対使用しない事。
5. 馬ジャッキ装着後5分位安全状態を確認してから作業にかかる事。
6. 点線の受け皿両フチは横ズレ・転倒・落下を防ぐ為で、フチの部分には絶対に荷重を架けない事。変形や転倒の恐れがあり危険です。
7. 必ず空車(積載無し)の状態で使用する事。

正しい使い方を十分理解し安全に作業して下さい。

間違った使い方は、製品の能力が発揮できないうえ人身事故・破損事故等、重大な事故につながる恐れがあり大変危険です。

- 自動車メーカーが指定するジャッキポイント以外では支持しないで下さい。
- リジッドラックは2台セットで使用し、受皿・受ゴムの中心で支持して下さい。(中心でないとリジッドラックが不安定になり、バランスの悪化から事故につながります)
- リジッドラックの高さは全ての受部台の高さが同一になるように使用して下さい。(使用される個所に応じ、高さをスケール等で必ず測って使用して下さい)
- 使用車両・能力以外の車両には絶対に使用しないで下さい。
- 必ず空車(積載無し)の状態で使用して下さい。
- 受部台を最低位置の状態にして、屋内で保管して下さい。

ネジ式はジャッキポイントに受台が確実に接触するまで調整し、車両の傾斜がないように使用して下さい。特にシャフトやシャフトハンドルナットの融合部分にはグリス等を施し、摩擦・ガタツキ・ガジリを感じる場合は早めの交換をお願いします。



点検

安全のために車を載せていない状態で、定期点検や使用前・使用後は保守点検を必ず行って下さい。

長い間使用を続けていると、溶接部は材料等の疲労やサビ等で耐久力が落ちてきます。

日々の点検を怠ると命にかかわり大変危険です。

【ピン式点検内容】

受部	変形や破損・摩耗・ひび等はないか	目視や触感
ピン・ピン穴	〃	〃
頭部	〃	〃
溶接部	〃	〃
リジッドラック全体	〃	〃

【ネジ式点検内容】

受部	変形や破損・摩耗・ひび等はないか	目視や触感
ネジ部(オネジ・メネジ部含)	〃	〃
頭部	〃	〃
溶接部	〃	〃
リジッドラック全体	〃	〃

「製品保証1年」

取扱説明書・使用時の注意事項に従った正しい使用状態で、納入後1年以内に製品が故障した場合に限ります。

(使用時の注意事項はリジッドラック本体に添付)

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対してすべてを無条件で保証するものではありません。